

松本障害保健福祉圏域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

<p>部会・プロジェクト名 令和 3 年度第 2 回 地域生活支援拠点等事業検討プロジェクト（通常メンバー会議）</p>	<p>開催日：令和 3 年 7 月 20 日（火） 時 間： 10 時 ～ 11 時 場 所：オンライン会議</p>
<p>参加者構成機関名 （通常メンバー） 行政（松本市（欠）、安曇野市、塩尻市） 基幹相談支援センター、主任相談支援専門員（信濃友愛会）、緊急時空床確保事業所（りんどう信濃会）、ひとり暮らし体験事業所（ハートラインまつもと）、協議会事務局（中信社会福祉協会）</p>	
<p>次第 1 令和 4 年度 ひとり暮らし体験事業の運営体制について 2 空床確保事業の開始時期について 3 台帳整備について 4 その他</p>	

会議内容

1 令和 4 年度 ひとり暮らし体験事業の運営体制について

- ・基幹センターの職員配置の適正化が最重要課題ではあるが、これについては相談支援体制検討 PJ にて検討中のため本日は議題としない。来年度以降も現状の体制の場合にどうするかを今回の議題とする。
- ・ひとり暮らし体験事業のコーディネート業務について市町村部会にて検討の結果、3 市は対応可能だが 5 村は人員配置的に難しいと報告された。
- ・協議の結果、件数も少ない中で 5 村については基幹相談支援センターの機能強化コーディネーターが対応をすることとした。

2 空床確保事業の開始時期について

- ・9 月中のコロナ感染状況をみて確認をしていく。第 3 回プロジェクト開催前に事業所を対象とした空床確保事業に関するアンケートを実施し、第 3 回プロジェクト会議にて決定をする方向で考えたい。
- ・各事業所のショートステイ等の受け入れ状況に関する情報共有を行う。
 - ① 中信社協…4 施設あるが、原則新規の受け入れはケースの事情に応じて慎重に対応中。今までの利用者は受け入れている。空床確保に関しては、すぐの開始は難しいと考えている。
 - ② 信濃友愛会…5 月時点と変わらない対応。（SS は今までの利用ある方の受け入れは可。）法人のルールに基づき、新規ケースは慎重な聞き取りを実施して対応。他で受け入れが困難な方は、ロングショートで受けている。
 - ③ 穂高悠生寮…レベル 3 以下なら受け入れることにしている。あとは他の事業所と同様の対応中。ワクチンを 6 月中にスタッフ・利用者が接種したので、今後対応の変更について検討中である。拠点整備の面的整備ということで、緊急時対応の台帳登録者が出てくると思うが、難しいケースをどううけるかの課題把握ができていないので、整備が必要ではないか。

3 台帳整備について

(東條サブリーダーより)

・昨年度第2回プロジェクトで確認及び決定をした「登録のご案内」文書の送付がまだ実施されていない市村もあるので、8市村で足並みをそろえる必要があるのではないかと。

・拠点事業として地域からの期待もあるため、台帳整備に取り組む姿勢が必要であると思う。

(田崎プロジェクトリーダーより)

・昨年度決定した内容については確認を行う。台帳整備の内容と進捗については、市町村部会で確認し改めて報告する。

4 その他

ひとり暮らし体験事業実施事業所（ハートラインまつもと）より

昨年度のひとり暮らし体験事業の実績及び状況は協議会にて報告をしているので確認頂きたい。

課題としては、8市村からの委託事業であるが市村によって利用頻度が異なっている現状がある。また、日中活動の場から離れてしまい、より日常生活に近い体験が出来ない場合もある。体験の場も利用エリアごとの設置が望ましく、検討が必要だと思う。また、聴覚障がいの方の見学があったが、エレベーターのない3階のお部屋でもあり、合理的配慮が厳しい環境であることも課題。合理的配慮ができる（フラットな構造など）体験の場の設置も課題となると感じている。

次回 開催日時：令和 3年 9 月 上旬 オンライン会議の可能性もあり